

さんSUNひろば VOL・14

北海道看護協会 第3支部

働き続けられる職場づくり

推進委員会主催研修会



働き続けられる職場づくり推進委員会では、6月30日(土) 新さっぽろアークシティホテルにて「魅力ある職場環境創り～フィッシュ！哲学の導入～」と題し、ニプロ株式会社 社外取締役 大水美名子先生をお招きし、講演会を開催しました。

フィッシュ哲学についてのDVDを視聴し、実際にフィッシュ哲学を導入された経緯、具体的とその効果についてご講演いただきました。

69名の参加があり、アンケートでは「参考にしたい」「考え方を実践したい」という回答が多く、興味を持って理解も得られた研修になりました。

札幌第3支部働き続けられる職場づくり推進委員長 市川 真紀



<「フィッシュ！哲学の導入」を受講して>

成人は目覚めている時間の75%を仕事についやしている現状であり、退職後楽しむのではなく、今その75%を楽しみ、そこからエネルギーをえるのでなければつまらないとの考えでした。人材育成環境、イキイキびちびち泳いで欲しい環境づくりが、フィッシュ活動であり、そのねらいは、明るく楽しく元気よく、仕事ができる職場環境と風土づくりが自然な形にできる事でした。それが良い医療の提供と組織の生産性向上につながる。またFISHの為の4つのドアである1)遊び心で仕事を楽しむ 2)人を喜ばせる 3)注意を向ける 4)態度を選ぶ を実際に現場で活用できえれば、仕事が楽しく、1日があっという間の時間で終わりその後のモチベーションにもつながると感じました。とてもわかりやすく、わくわくさせられる研修でありました。

札幌第3支部 広報委員 田中 記

保健師職能委員主催研修会

「性的マイノリティと人権」というテーマで7月7日エミシアホテルにて、元・男女共同参画課課長の廣川衣恵氏を招いて保健師職能小規模学習会を行った。

「札幌市パートナーシップ宣誓制度」導入から丸1年たったが、その立役者である。

LGBTは「レズビアン」「ゲイ」「バイセクシュアル」「トランスジェンダー」の略で、その割合は総人口の8%と言われ、日本では1000万人になる。しかし多くは周囲の無理解・無自覚は差別や偏見



にさらされている。性自認・性的指向は嗜好ではない、本人の意志の問題ではなく本人に選択できるものでない、という理解が進んでない。

不毛な生きづらさを抱える人たちがこんなにも存在する事実には驚いた。少子超高齢社会の日本において地域包括ケアや共生型社会の実現に向けさまざまな取り組みがなされているが、LGBT 対策のその一つである。自殺率も高く、悩みを抱えていれば生産性が 2 割落ちるといふ。パートナーシップ宣誓制度の他、LGBT フレンドリー企業の登録など各企業の取り組みも徐々に進んでいる。レインボー消費は 6 兆円と言われ経済的にも無視できない。国際的に後れを取っている日本は 2020 年のオリンピックまでに対策を講じなければならないのだ。医療機関を受診する際にとっても辛い経験をすることも多く、治療が受けられない・継続できないといったこともあるという。我々看護職は理解しているのだろうか。「無自覚な差別」をしないためにも、「まずはきちんと知る」ことが必要なのだ。

廣川氏が講演の後ある高校生に声をかけられたという。「私、生きてていいんですね」・・・今一度この言葉を考えたい。

「無自覚な差別」をしないためにも、「まずはきちんと知る」ことが必要なのだ。廣川氏が講演の後ある高校生に声をかけられたという。「私、生きてていいんですね」・・・今一度この言葉を考えたい。

札幌第 3 支部保健師職能委員長

町田丸美



広報委員 白浜さん一言

2018年7月7日(土)ホテルエミシアで光星友愛認定こども園 園長 廣川衣恵講師をお迎えして講演を聞かせて頂きました。

LGBTについて理解できていないために無自覚な差別をしているかも・・・日本におけるLGBTの割合は8%と言われていて、これは左利きの人やAB型の人と同じ位の割合だそうです。偏見や差別があるという認識はあっても理解がされていなかったり、間違った理解をされていたりしていることが多いそうです。S地区の暮らしと意識に関する実態調査では学校でのいじめや不登校が多く、保護者・教員の無理解、そして自殺したいと思った方が約半数を示すショッキングな数字でした。

1人1人の人権が守られ、誰もが自分らしく生きられるような社会、地域で安心して暮らせる街づくりが必要とお話ししてくださり、LGBTについての理解を深めることが出来ました。

教育委員主催研修会



H30年7月14日の午後、ホテルエミシア札幌にて看護研究発表会を開催しました。今年には10演題が発表され、126名23施設が参加しました。例年よりも少ない演題数での開催となりましたが、参加人数は例年通りでした。演題の多くは、日常業務の中に研究テーマを見つけて、今後のケアの質の改善に役立つものであったと感じます。外来、病棟、手術室に透析看護まで幅広い分野の発表であることが本発表会の特徴だといえます。

近隣施設のとりくみが見える発表会であるため、参加施設の関心度が高く、事前に抄録などの資料を希望される施設も増えてきたため、今後検討していきたいと思えます。毎年参加されているご施設はもちろん、まだ参加したことのないご施設はぜひ演題登録をご検討ください。宜しくお願い申し上げます。

札幌第3支部教育委員長

大場朝宏

H30年7月14日（土）に札幌第3支部看護研修発表会が開催され、今年には10演題の発表がありました。通常業務内での課題・疑問から研究を進められており、発表を聴くごとに看護師の皆さんの取り組みのすばらしさに感嘆してしまいました。他病院の発表を聞くことで今後の自分達の看護業務の参考になることがたくさんあったと思えます。多忙な中、研究に取り組んだ皆様お疲れ様でした。また発表された方々ありがとうございました。

札幌第3支部広報委員 中島 記



看護師職能委員主催研修会

支部会員の皆様には日頃より、支部活動にご協力頂き深く感謝いたします。

この度看護師職能委員会は、H30年7月28日（土）の午後新札幌アークシテイホテルにて、「介護・看護に役立てるアロマセラピー」をテーマに HHTA 認定ホリスティックハーバルセラピストの吉田のり子先生に1)

アロマセラピーの基礎知識 2)

精油の作用とメカニズム 3) 注意すること 4) 介護・看護のアロマセラピー 5)

アロマセラピーを実践する様々な方法 6) アロマミストスプレー作成体験 のプログラムで講義及び体験型の講演をして頂きました。基本的には事や留意点など医学的な面を含め、日々の現場で効果的に活用できるアロマセラピーについてのお話しでした。参加者も支部会員・非会員を問わず多くの方に参加していただき誠にありがとうございました。

今後も皆様からのご意見、及び今回のアンケート結果より次回の講演会の開催企画を立案して行きたいと考えます。

札幌第3支部看護師職能委員長

根本ひとみ



2018年7月28日(土) アークシテイホテルに於いてホリスティックハーバルセラピストの吉田のり子先生をお招きして「看護・介護に役立てるアロマセラピー」の講演をして頂きました。

アロマセラピーの基礎知識から詳しく学ぶことが出来ました。まず、精油とは～その特徴、性質、保管方法、価格、購入の際のポイント、次にその作用とメカニズムについてとても分かりやすく講義して頂きました。アロマセラピーが、認知症

予防、不眠に効果があり、抗菌・抗真菌作用も期待できることから活用できる環境は多くあると感じました。自律神経を整える効果で介護される人、介護、看護をする人のストレスの緩和も期待できそうです。後半はハーブのルームスプレーを作成する体験型学習で、会場はリラックスした香りに包まれ2時間はあっという間に終わってしまいました。 札幌第3支部広報委員 白濱 記



編集後記

とても暑かった今年の夏、海や山に出かけられ暑さを味方に楽しんだ方、ちょっぴり体調を崩した方もいらっしゃるのではないのでしょうか。これからは涼しくなり、過ごしやすくなりますね。

秋と言えば・・・皆さんは何を連想しますか？2017年10月調べランキング 2位スポーツ 3位行楽 調査会社で多少入れ替わりはあるものの不動の第1位食欲でした。

第3支部・各委員会主催の研修会もまだまだ沢山開催されます。沢山の方の学びの秋となるといいですね。